



金融機関には、法規制要件を満たし、金融犯罪リスクを軽減できる戦略的管理システムが必要です。いずれの金融機関も何らかの形で違法な野生動物取引（IWT）のリスクにさらされることとなりますが、IWTとつながりの可能性を適切に発見できる組織は、いくつかの基本原則を遵守しています。以下のことが推奨されます。

1.戦略

IWTは、大小問わず、すべての金融機関に影響する問題であることを認識します。IWTへの場当たりの対応を避けるために、IWTに対処する際の戦略、ポリシーおよび手続きを設定する必要があります。

2.組織全体の対応

組織内のすべてのレベルと部門が、IWTに取り組むための明確な役割と責任を認識し、理解していることを確認します。

3.前提犯罪としての認識

IWTがマネー・ローンダリングの前提犯罪であることを認識し、既存のマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与（AML/CFT）対策の枠組みに組み込みます。

4.リスク評価の実施

事業に関連するIWT関連リスクを特定します。IWTとの隠れたつながりを発見するためのポリシー、手順、システムやツールなどを利用して、リスク指標に反映させる必要があります。

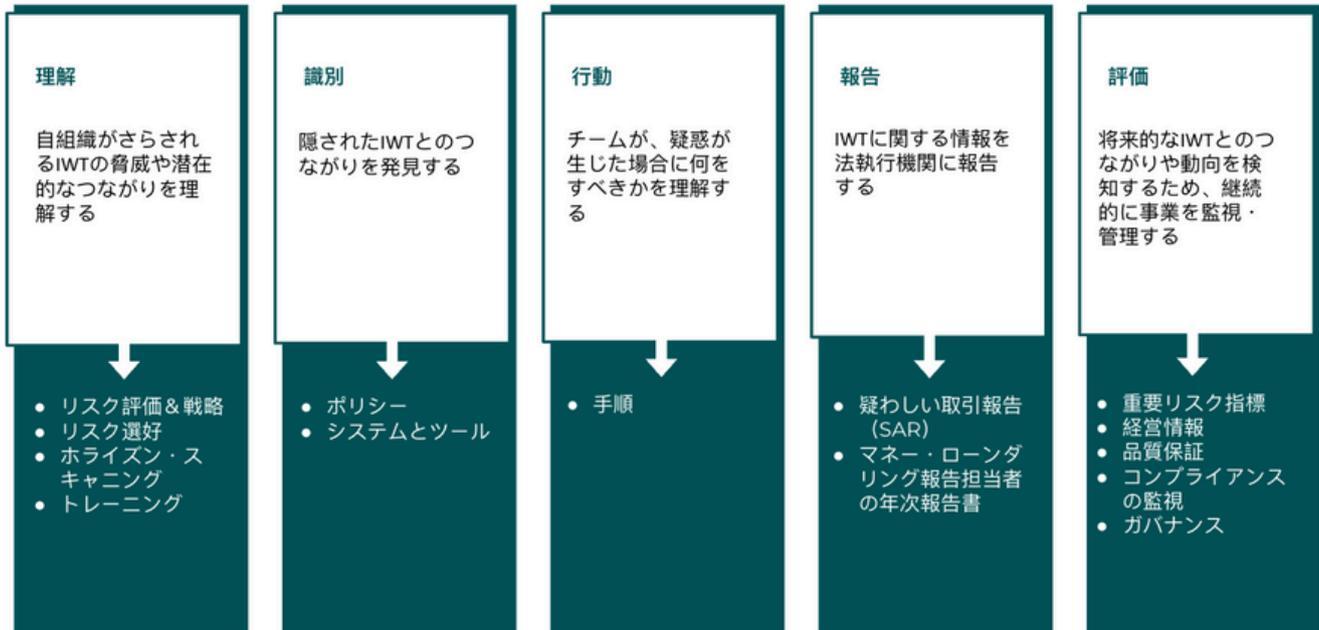
5.IWTと他の金融犯罪との関連を理解する

一般的に、IWTは、貿易取引に便乗したマネー・ローンダリング（TBML）や汚職のレッドフラグなど、他の形態の重大な組織的犯罪との関連性があります。これらの関連性は、ツールキットで詳しく説明されています。従業員がこれらの関連性を認識し、TBMLや汚職を評価する既存の取引監視システムによってIWTの疑いのあるケースが検出される可能性がある、ということを理解しておくことが推奨されます。

6.ポジティブな文化を醸成する

トップから強力かつ一貫したトーンで発信をすることで、マネジメントの優先事項としてIWT対策を強化することができます。IWT対策を全社的に推進する責任を担う役員または上級管理職を一人指名することが推奨されます。

組織がIWTへの対応を整理し、ポリシーを適切に実践にするために、以下の項目を利用してください。



ツールキットで提供される「モデル」フレームワークはベスト・プラクティスに基づくものです。あらゆる形態のIWTに対する効果的なコントロールを金融機関が実装することを支援するための実践的な手順を提供しています。事業の規模や性質、および既存のコントロールのレベルに応じて、ツールキットのコンテンツ全般または一部を利用してください。

[詳しくはこちらをご覧ください。](#)